

先端研、リスタート。

開設10周年

先端総合学術研究科——通称、先端研は全国的にも数少ない、一貫制博士課程の大学院です。

先端研は新たなテーマを切り拓く研究者養成のために、学部から独立して作られた大学院です。これまで院生と教員は、共同のプロジェクトのなかでさまざまなテーマの研究に取り組んできました。

2003年に発足した先端研は10周年を迎えます。博士号(学術)を取得し、研究者として巣立っていく仲間がいるなか、2012年度には新たな教員を迎え、次のステップを踏み出します。

——リスタート。新しい先端研のはじまりです。



上野千鶴子特別招聘教授、竹中悠美准教授、着任。

2012年度、先端研に上野千鶴子特別招聘教授(社会学)、竹中悠美准教授(芸術学)が着任します。人文社会科学の新領域を開拓するべく創設された先端研を、ともに担う新しい仲間です。



上野千鶴子
(社会学)



竹中悠美
(芸術学)

入学試験日 2012年2月12日(日)

出願期間 2011年12月16日~2012年1月13日

■募集人員30名 ■修士修了(予定)者は3年次から入学可能です。
入試説明会開催日については、右記までお問い合わせください。

先端研は4領域、複数指導体制であなたの研究をバックアップします。

publicness
公共——21世紀における公共性

天田城介(社会学)
社会/社会的なものの原理的解明
後藤玲子(経済学)
福祉と正義と経済と——3つの視点が結ぶ未来
立岩真也(社会学)
平等と自由/自由の平等
上野千鶴子(社会学)
ジェンダー研究/ケアの社会学

life
生命——争点としての生命

遠藤彰(生物学・環境論)
生命と環境の現在と未来
小泉義之(哲学・倫理学)
生殖と病の哲学
松原洋子(科学史・生命倫理)
生命科学・支援技術の歴史と倫理

社会学、哲学、人類学、文学、美学などを専門とする総勢13名の教員陣が先端研の魅力。ともに、学問の新領域を切り拓きましょう。

Socio-Cultural Symbiosis
共生——共生の可能性と限界

ポール・デュムシエル(政治哲学)
社会は共生のモデルとなりうるか?
西成彦(比較文学)
ままならない身体をめぐる文学
渡辺公三(人類学)
人類学的思考の歴史

representation
表象——文化と芸術の表象論的分析

島田康寛(美術史学)
美術史の再構築
竹中悠美(芸術学)
現代アートとミュージアムの戦略
吉田寛(感性学)
遊びとゲームの感性的論理

お問い合わせ先
TEL:075-465-8348

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 (創思館1F)
立命館大学大学院先端総合学術研究科 独立研究科事務室
ホームページ <http://www.r-gscefs.jp>



おいでよっ!
せんたんけん

